

機密性2情報

回答書 「令和8年度八代港港湾業務艇建造工事」

仕様番号	質問	回答	結論
第1章 概要			
1-2 主要目	全長(測度長)が約17.0m、型幅が約4.10m、型深さが約2.10mと記載が御座いますが、この数値の増減は認められますか？ たとえば、全長(測度長)を約16.5mとしても問題は無いでしょうか？	全長(測度長)は約17.0mであり、特記仕様書記載の主要目(船質、計画総トン数、速力、主機関、推進器、最大搭載人員、航行区域、資格)及び搭載物を満足すれば約16.5mとしても問題はございません。	
1-2 主要目	速力(通常時満載状態、海上平穩、4/4出力)が26ノット以上と記載が御座いますが、この速力を下回った場合でも納品は可能でしょうか？ 他局様の港湾業務艇の場合、燃料油2,400リットル・清水200リットルの1/3を消費状態(燃料油1,600リットル・清水133リットル)とし、乗船者10名の状態で27ノット以上の要求でしたので、26ノット以上がかなり厳しい様に思われます。	特記仕様書のとおり、速力は26ノット以上を満足していただく必要がございます。	
1-10 検収及び引渡	(2)工期について 『契約締結日から令和10年3月31日まで』と記載が御座いますが、期限の数ヶ月前に完成した場合、前倒しで本船を受領頂く事は可能でしょうか。 また、納期が長期化している機器もあり、その場合、工期を延長する事は可能でしょうか。	期限の数ヶ月前に完成した場合、前倒しでの本船引渡し、及び情勢等により不足の事態が生じた場合の工期の延長については、受注後協議下さい。	
第2章 船体部			
2-3 船体主要部構造	(7)船首形状について 『台形状』と記載が御座いますが、R形状とする事は不可でしょうか。	特記仕様書のとおりとします。 もし、相応の理由がございましたら、受注後協議下さい。	
第3章 船殻艀装部			
3-2 係船装置	(1)係船金物等について 全ての品名の規格が『ステンレス製』と記載されていますが電蝕防止と強度を両立しながらの設置は困難です。 アルミ製に変更をご検討頂く事は可能でしょうか。	特記仕様書のとおりとします。	
3-6 交通装置	(1)梯子について 『昇降用折りたたみ式ステップを客室側面に設ける』と記載が御座いますが、添付資料1のような器具をご想定でしょうか。 客室側面には窓があり、設置は困難であり、折りたたみ式ステップだけでは昇降が困難ですので、添付資料2のような感じでしょうか。 また、折りたたみ式ステップの材質はステンレス製がほとんどですので、電食防止策としては『アルミ側壁面を塗装』として、塗装後に折りたたみ式ステップをボルト&ナットで設置して問題ないでしょうか？	ご認識のとおりです。 なお、折りたたみ式ステップの取付のみとしており、固定式垂直梯子については想定しておりません。	
3-9 救命装置	品名に救命浮器と記載が御座いますが、昨今では、旅客12名以下でも、他局の港湾業務艇は救命浮器ではなく、救命いかだを設置するよう日本小型船舶検査機構より指導を受けております。 新造船だけでなく、既存の港湾業務艇に対しても、救命いかだを設置するように指導されているかと思えます。 ご指示の救命浮器の設置で問題がない事は、管轄のJCIで確認が取れておりますでしょうか。	既存の港湾業務艇について、日本小型船舶検査機構より救命筏の設置について指導はを受けておりません。	

仕様番号	質問	回答	結論
3-15 諸室	(5)機関室、(6)舵機室と記載があり、特記仕様書に添付の一般配置図を見ますと機関室と舵機室の間に隔壁があるように見えます。狭いスペースを有効活用するために、この隔壁を無くす事は出来ないでしょうか。他局の港湾業務艇にはこの隔壁は御座いません。 また、(5)機関室、(7)タンク室の、壁と天井の使用材料に『耐食アルミニウム合金製多孔板張り』と記載が御座いますが、この場合、重量過多となり船側にも悪影響となりますので『アルミガラスクロス』に変更したいのですが如何でしょうか？ 他局の港湾業務艇ではありますが実績が御座います。	特記仕様書のとおりとします。	
3-17 塗装	船体内面(内張部)の塗料に『エポキシ系防食塗料(アルミ用)』と記載が御座いますが、制振材を使用する箇所になるため、『無塗装』に変更して頂けないでしょうか。 制振材のメーカーより、塗装面に張り付けた場合、剥がれやすくなるため制振できなくなるとの注意があり、無塗装とする必要があります。 また、配管についてですが、室内設置の配管につきましてはステンレス管、アルミ管を使用しており、錆・腐食の心配がない事から通常、塗装は行いませんし、塗装を行った実績もございません。 『無塗装』に変更して頂けないでしょうか。 配管(室外)につきましては、塗装施工で問題御座いません。	特記仕様書のとおりとします。 もし、相応の理由がございましたら、受注後協議下さい。	
第4章 機関部			
4-3 推進装置	(2)推進軸において 『中間軸の材質は鍛鋼製』と記載が御座いますが、経年と湿気から錆が発生し、中間軸が高速回転する事で、周囲に錆が散乱する状態になるかと思えます。 他局の港湾業務艇では錆の出ないステンレス鋼に変更を弊社より提案、採用をして頂いたのですが、SUS304製では問題ありでしょうか。	特記仕様書のとおりとします。	
4-6 タンク	燃料タンクの材質は『耐食アルミニウム合金』との事で特記仕様書に添付の一般配置図を見ますと、燃料タンクの配置が船側、船底まで達しているようですので船体付きタンクで問題無しと考えて宜しいですね。 (タンク底部＝船底外板、タンク側部＝船側外板、タンク後部＝機関室隔壁)	船体付きタンクを想定しております。	
4-7 諸管装置	(1)燃料管系において 『燃料管は銅管とし』と記載が御座いますが現在、設置を予定している主機関が電子制御エンジンを採用しており、噴射弁保護の観点から銅管は使用しない様、メーカー指示がございます。 従いまして、燃料管にはSUS管の他に、振動対策としてゴムホースを使用する事が必要となりますが宜しいでしょうか？ (2)海水管系において 『こし器は複式とする』との記載が御座いますが市販の複式こし器は、より大型の機関用に設計されている為、大きすぎて機関室内の通路が圧迫されます。 他局の港湾業務艇では、単式2個の組合せにより複式こし器に加工し、納入の実績があります。その方式で問題は無いでしょうか。	(1)燃料管系において 特記仕様書のとおりとします。 主機メーカによる安全な稼働・運転に際して制約や条件等がございましたら、受注後協議下さい。 (2)海水管系において 複式こし器と同等の機能を確保できるのであれば問題ございません。	

仕様番号	質問	回答	結論
	(5)排気管系において『主機関用消音器はステンレス鋼製とし、乾式とする』と記載がございますが、FRP製の湿式消音器に変更をご検討頂けないでしょうか。ステンレス製の乾式では重量がかさみ、またフランジ接続となりますので船体へ過熱、振動が伝達し障害が懸念されます。FRP製の湿式の場合、海水により加熱が防止され、ゴム管接続となりますので振動の伝達も軽減されます。	(5)排気管系において 特記仕様書のとおりとします。	
第5章 電気部			
5-2 発電機及び電源装置	(4)蓄電装置について 数量に『24V×200AH 2群』と記載されていますが問題はないでしょうか。 他局の港湾業務艇では、主機関2基、発電機1基にそれぞれ1群ずつ計3群の蓄電池を始動用に接続し、それぞれの機関のオルタネータより充電するようにしております。 計3基の機関に対し、2群の蓄電池の蓄電池はどのように接続をご検討されていますか。	1群の蓄電池で主機関1機をまかない、もう1群の蓄電池で主機関1機及び補機関1機をまかなうことを想定しております。	
5-7 航海計器	(7)音響測深機は、シングルビームのみの記載のようですので海底地形探査装置(マルチビーム測量装置)の設置は無しと考えて宜しいですね。	ご認識のとおり、海底地形探査装置(マルチビーム測量装置)の設置はありません。	
5-8 無線装置	(5)衛星船舶電話装置(配線工事のみ施工)について入力電源回路(DC24V)を設けると記載がありますが既に機種選定は済んでいるということで宜しいでしょうか。 弊社で設置した事のある衛星電話は、AC100Vのみの機種、あるいはAC100VとDC24Vの両方を使用する機種でした。 外部アンテナにつきましては、衛星電話の種類によっては専用の配線を手配する必要があり機器配置も検討しなければなりませんので設置予定機器の図面等のご提供をお願い致します。	衛星船舶電話装置は、現時点では機種未定のため、入力電源回路は(AC100VまたはDC24V)と修正します。 なお、衛星船舶電話装置は機種未定であるため図面等はございません。	
5-9 情報伝達用監視装置	(1)甲板監視カメラ装置について 15インチ以上の液晶モニター・録画機能付きのPCの他に、15インチ以上のタブレット型PCが必要ということでしょうか。 それとも15インチ以上のタブレットPC1台に録画機能も持たせるということでしょうか。(液晶モニター=タブレット型PC?) また、15インチ以上のタブレット型は機器選定が非常に難しい為、仕様変更が必要かもしれません。 (デスクトップ型PC+タッチパネル液晶モニター とか) (2)情報伝達用小型画像伝送装置について 陸上用が熊本港湾・空港整備事務所八代港分室で使用であれば、分室内にインターネット環境があると思いますので携帯電話網用モバイルルーターは船上用1台のみで宜しいのではないのでしょうか。 また、ハンディカメラと水中カメラで得た情報の伝達ということなので、監視カメラの映像は伝送対象外でよろしいですね。	(1)甲板監視カメラ装置について 15インチ以上のタブレットPC1台に録画機能も持たせるということを想定しております。 15インチ以上のタブレット型について、機器選定が困難な状況となった場合は、同等機能を有する機器構成にて、受注後協議下さい。 (2)情報伝達用小型画像伝送装置について 特記仕様書のとおりとします。 分室内のインターネット環境は使用しません。港湾業務艇専用で使用しますので分室に携帯電話網用モバイルルーターが必要です。 監視カメラの映像は伝送対象外です。	
契約後の保険	契約後には船舶建造保険、八代港への回航前には回航時の保険を契約の予定ですが、履行保証保険の契約は必要でしょうか。 また、そのほかに必要な保険契約が御座いましたら、ご教示頂けないでしょうか。	履行保証保険の契約は必要ございません。また、そのほかに必要な保険契約等もございません。	

仕様番号	質問	回答	結論
	『競争参加資格調書』の中で 様式－6 保守サービス体制調書 に関する質問となります。 ①『部門』欄が連絡窓口・船体部・機関部・電気部と分かれています が、弊社の規模が小さいため、部門を分けた対応をしておりません。 すべてを同一人物にて対応を考えておりますが 4箇所共、同じ氏名を記入して問題は無いでしょうか。	各部門の対応できる方であれば問題ございません。	
	②1. 記載要領にて 『連絡後24時間以内に引渡し場所で現況調査等の迅速な対応がとれる体制』 と記載がございますが 弊社より八代港まで伺う場合、どうしても24時間では到着する事が出来ません。 八代港に近い、外注業者に弊社より依頼して 24時間以内に到着するような体制を作り 『納入場所までの交通経路』に外注業者名を記載してもよろしいでしょうか。	対応可能であれば問題ございません。	

[illegible]

仕様番号	質問	回答	結論
第3章 船殻艀装部			
3-3 防舷装置	(1)防舷材について 『発泡ポリプロピレン製の吊防舷材』と記載がございますが、材質は発泡ポリプロピレン限定でしょうか？ 発泡ポリエチレン製の吊防舷材あるいはPVC(ポリ塩化ビニル)製のエアフェンダーなど、ほかの材質の吊り下げタイプの防舷材は駄目でしょうか。	特記仕様書のとおりとします。 もし、相応の理由がございましたら、受注後協議下さい。	